

**保土ヶ谷区地域子育て支援拠点事業  
令和4年度重点目標評価結果・令和5年度重点目標**

事業実施期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日(2年度目/5か年度)
事業の実施者	特定非営利活動法人 ピアわらべ 保土ヶ谷区こども家庭支援課
事業目的	市民が安心して子どもを生み育て、子育てに喜びを感じることができる社会環境を形成し、子育てを地域全体で支援する地域力の創出に寄与することを目的とします。  【事業・施設運営の基本理念】 1 保土ヶ谷区における、地域による子育て支援の拠点施設としての運営 2 子どもの視点に立ち、すべての就学前児童及びその養育者、並びに子育てに関する支援活動を行う者にかかれた運営 3 子どもと家庭を支援する各種の行政等機関・地域等との連携を図る運営 4 利用者の意見、子育てをめぐる社会情勢、市民ニーズの変化に柔軟に対応できる運営 5 子ども及びその養育者の育ちを支援するとともに、養育者自身が事業の担い手として関わることができる視点に立った運営 6 地域の人と人とのつながりを広げ、地域ぐるみの子育て支援を目指す運営
事業の内容	1 乳幼児の遊びと育ちの場及びその養育者の交流の場の提供(親子の居場所事業) 2 子育てに関する相談及び関係機関との連携に関すること(子育て相談事業) 3 子育てに関する情報の収集及び提供に関すること(情報収集・提供事業) 4 子育てに関する支援活動を行う者同士の連携に関すること(支援者ネットワーク事業) 5 子育てに関する支援活動を行う者の育成、支援に関すること(人材育成、活動支援事業) 6 地域の住民同士で子どもを預け、預かる支え合いの促進に関すること(横浜子育てサポートシステム区支部事務局運営事業) 7 子育て家庭のニーズに応じた施設・事業等の利用の支援に関すること(利用者支援事業)
事業の評価実施方法及び評価結果の公表方法	1 今年度の取組状況や利用者アンケート結果等をもとに、協働契約書中の役割分担表の項目に沿って設定した、今年度の達成目標のうち、当該年度に特に重点的に取り組む達成目標である「重点目標」について、以下の通り、相互振り返りを踏まえた取組成果と課題を公表します。 2 今年度の取組状況や成果、課題を踏まえ、次年度の重点目標を公表します。

**令和4年度重点目標の評価**

令和4年度重点目標	①妊娠期からの切れ目のない支援を行い、育児不安の軽減に努めます。 ②自治会や子育ての関係機関・者と連携し、親子を温かく見守る地域づくりを推進します。
取組内容	①・妊娠期の方が日常的に拠点を利用することが出来るよう、チラシ(拠点案内・LINE登録)を作成し、産婦人科や商業施設等に妊娠期の方に向けて情報提供してもらえるよう依頼していきます。 ・妊娠期の方のニーズを把握し、ホームページやLINEを活用した情報発信やオンラインでの交流会(当事者同士や子育ての先輩を交えた会)を企画実施していきます。 ②・子育て支援連絡会の事務局を担い、関係機関との顔の見える関係づくりや地域の特徴や課題を話し合う機会を作ることを継続していきます。 ・地域ケアプラザ等を会場に、主任児童委員会・親と子のつどいの広場と「ほ도가やこどもニコニコフェスタ」を開催し、地域の子育て資源の紹介を行います。
取組の成果	①・区と協力し、母子手帳交付時や、こんにちは赤ちゃん訪問時のチラシ(拠点案内・LINE登録)の配布や両親教室での周知、イオン等商業施設、駅への配架、ホームページ妊娠期の方向けページのリニューアルを行い、出産後の来所やLINE登録につながりました。 ・沐浴講座やお産講座の他、オンラインで「産後のママの身体や心、パートナーとのコミュニケーションのコツ」をテーマに助産師による講座を開催し、「産後の生活をイメージ出来た」「パートナーと話すことの大切さを改めて感じた」「オンラインは気軽に参加できるのでありがたい」と感想がありました。 ②・子育て支援連絡会では、エリアごとに、民生委員・児童委員、主任児童委員、地区社協の方々、保育園等の子育て支援関係機関を交えて地域アセスメントやワークを行い、その地域の特徴や課題を共有することが出来ました。地域の方々の連絡会への参加者数は年々増加しており、今後もそれぞれの地域の福祉保健計画(ほっとなまちづくり)に沿って親子を温かく見守る地域づくりを進めていきます。 ・「ほ도가やこどもニコニコフェスタ」(ニコフェス)は、コロナ禍で保土ヶ谷公会堂での集合型イベントが難しかったため、7エリアの地域ケアプラザを会場に開催し、地域の親子に子育て情報と楽しいイベントを届けることが出来ました。ニコフェスで作成した子育て資源の紹介動画は、区役所1階のモニター放映を開始し、youtube配信と共に、さらに多くの区民に情報提供することが出来ています。
取組の課題	・ひろばアンケートでは、子どもが生まれてから地域子育て支援拠点を知った方が44%おり、周知が行き届いていない状況です。商業施設での情報提供を継続するとともに、新たに協力してくれる産院や婦人科を開拓し依頼していきます。 ・男性が育児に関わる機会が増加しているので、プレパパが子育て中のパパと交流できる機会が必要です。夫婦が役割分担しながら子育て出来るよう、当事者を交えて企画していきます。 ・子育て支援連絡会の地域の課題として、子育てサポートシステムの周知不足、預かり手不足があがっています。地域の中で子どもの預かり合いが活性化するような周知や取組が必要です。

**次年度重点目標**

令和5年度重点目標	令和5年度に有識者を交えた事業評価を実施するため省略します
-----------	-------------------------------